**18. モンスターを作ろう！**

* 目標：比較級を使って、モンスターの特徴を伝えたり、聞き取ったりできる。
* 対象：中学2年生
* 文法：比較級（~er）

**＜タスクの進め方＞**

* Pre-task
1. 教師が前でモデルのモンスターを紹介し、より良いモンスターを描く。

（例）This is the model of our monster. His name is Nick.

　　　　　I can make a nicer monster than Nick.

1. モデル(Nick)の絵に描いてある体の部位(髪の毛・目・耳・首・鼻・胴体・手・足など)を比較しながら描いていく(参考：Ken)。これを全体が仕上がるまで続ける。

（例）My monster has longer hair than Nick.

 My monster has a smaller nose than Nick.

 My monster has a larger month than nick.

1. 生徒に[er~than]に気づかせる。
2. 文法の説明をする。

（例）”A is 形容詞＋er than…”で「Aは…より～(形容詞)だ」

* **Task**
1. 生徒をペアに分け、A・Bを決める。
2. 生徒にモンスターが描いてあるカードを渡す(AにJohn,BにMike)。
3. 配られたカードよりも良い、自分の理想のモンスターを描く。
4. まずAが受け取ったカード(John)を二人で見ながらAは自分が描いた理想のモンスターの特徴を述べていく。Bはその条件に合うモンスターを描く。
5. Aが描いた理想のモンスターとBが描いたモンスターがどれだけ近づけたか二人で確認する。
6. AとB入れ替える。
7. 各自のモンスターを教室に掲示する。

**＜ワンポイント・アドバイス＞**

モデル等の絵は得意であれば自分で作ると良い。

**参考**：2009年度Yoshiゼミ（”Task-Based Language Teaching” Junior High School Task 6. モンスターをつくろう）を参照・修正

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(Kana)